

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3 年

留学先大学：RMIT

現在の学期：1st semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	Youth Studies 5 (12:30~14:30)
水	Youth Studies 3 (12:30~14:30)
木	Self,Identity and Agency (8:30~10:30)
金	
土・日	

履修科目や近況について

RMIT は、特定の学部に所属する必要がなく、自分が興味のある授業を幅広く履修することが可能です。「ロイヤルメルボルン工科大学」という名前からもわかる通り、工学やデザインが有名な大学であるのですがそれ以外にも様々な分野の授業が開講されている、総合大学です。私は、青少年の精神発達や心理学を学ぶため、Youth Studies 3、Youth Studies 5 と、Self Identity and Agency という授業をとりました。授業によって2時間であったり、3時間であったり、また週に二回講義がある授業もあります。交換留学生は3つか、4つの授業をとることが可能です。私は、英語で講義についていくことが不安であったのと、千葉大の授業をオンデマンドで取る予定であったので、3つの授業を選びました。

私の取っている授業はすべて、Tutorial の前に予習として、オンラインで Lecture を受けなくてはなりません。Reading と授業動画の視聴をし、Tutorial には、ディスカッションができる状態にして向かう、といった感じです。

Youth Studies 5 は、若者の健康、特にメンタルヘルスに焦点を当てた授業です。カウンセリングやセラピーについて学んでいます。教授は、長年 youthworker として活動している方なので、現場の話を聞くことができ、大変興味深いです。この授業では、マルチメディアプレゼンテーションの課題がありました。若者のメンタルヘルスについて興味を持ったトピックについて、動画やプレゼンの作成を行いました。

Youth studies3 は、青少年のアイデンティティ形成を心理学と社会学の観点から探求する授業です。実践的な課題が多く、インタビュー分析の課題が課されています。

Self, Identity and Agency もアイデンティティ形成に関する授業なのですが、こちらは社会学の観点が強いです。foundation コースなので、丁寧な説明があり、またディスカッションが授業の 7 割ほどを占めます。身近なトピックから学術的な話まで様々な事を話し合い、時に理解することが難しいこともありますが、教授にそれを相談したところ、分かりやすい言葉で言い直してくれるようになり、とても助かっています。

授業は、すべて興味深くあっという間に 2 時間が経過します。日本と比べて圧倒的に話す場面が多いので、英語が出てこない戸惑うことが多いです。しかし、留学生である私や日本のことに興味を持って質問してくれる子がいたり、つたない英語を目を見て聞いてくれる子がいたりして、そこまでストレスなく授業に参加することができています。最初の 1、2 週間目で話しやすそうな子を見つけてその子と同じテーブルに座るようにしています。また授業終わりに教授に質問したり、留学生であるがゆえの悩みを打ち明けたりしてコミュニケーションをとることを心掛けています。すると、私の状況を理解してくれて向こうから手助けしてくれることも多いです。

履修登録は、初めに「優先入力期間」なるものがありそこでは自分の好きな授業を登録することができます。1 つの授業にも、いくつかコマがあり、人数によって自動的に振り分けられます。私はこれを知らずに、履修登録がうまくできないまま、キャンパスに到着してしまいました。しかし、キャンパスに student connect という千葉大でいうと学務係的なブースがあり、そこで登録したい講義を伝え登録してもらいました。履修やシステム、講義関係で困ったことがあれば、ここに行けば大抵の事は解決してくれます。

セメスター初めに orientation week というイベントがたくさん行われる週が設けられており、そこで exchange student の友達をつくったり、学校内、図書館の紹介を聞いたりしました。RMIT のアプリがあるのですが、そこでイベントの情報を手に入れることができるので、逐一確認することをお勧めします。イベントに積極的に参加することで、現地の学生とも知り合うことができました。彼らはとても優しく、フレンドリーで

私のオーストラリアでの生活を支えています。授業以外で友人ができるのは、orientation か、サークルしか機会がないので、はじめは、自分から交流の場に行くようにしていました。

住居については大学から歩いて 10 分ほどの寮に住んでいました...が、古い寮だったのでベッドバグにやられてしまい、2 週間ほどで、その寮を出て大学が紹介する寮に移りました。日本とは衛生基準がまったく違うので、寮の HP や写真などでしっかり確認してから契約するようにしましょう！！設備が古いところは特に注意してください！！健康問題に関わるので、生活環境の整備、清潔はとても重要です。引っ越した先の寮は、比較的綺麗で快適に過ごせています。リビングとキッチンが 6 人でシェア、トイレバスは 2 人でシェア、ベッドルームは一人部屋です。パーソナルスペースがしっかりあるので、自分ひとりの時間を持つことができ、安心して暮らすことができます。

サークルは、RMIT ではなく、となりのメルボルン大学の日本語サークルに所属しています。exchange や international の日本人学生、また日本が好きな様々な国籍の学生と交流することができます、週に 1~2 回活動があり、任天堂のゲームをしたり、ドッジボール大会をしたりしています。日本語で話すこともあれば英語で話すこともあり、いろんな言語が飛び交っていて面白い空間です。

食事はなかなか口に合うものがなく、アジアンスーパーで日本の食べ物を買っています。課題が多く、自炊の時間が取れないので、寿司をテイクアウトしたり冷凍食品に頼ることが多いです。ただ、果物がとても安くおいしいので、とても助かっています！

休日は、地域のマーケットやビーチに行くことが多いです。orientation で知り合った exchange student の子や、サークルの友達と遊びます。アジア人の友人が多く、共通の話がたくさんできてうれしいです。最初はネイティブの英語のスピードについていくことができず、落ち込むこともありましたがそれを伸びしろだとポジティブに捉えるようにしています。こちらに来て約 2 か月が経過し、英語で話すことへの抵抗がなくなってきたように感じます。日常会話はストレスなく行えるようになりましたが、まだまだ授業のディスカッションをすべて理解するのは大変です。2 セメスター間の留学なので、焦らず一つ一つの課題をクリアしていく感覚で、進んでいきたいです。

私はこの留学が初めての海外長期滞在です。個人の感想ですが、オーストラリア（メルボルン）は長期留学にとってもおすすめです！生活していてここを選んでよかった！と思うことがたくさんあります。（ただ物価は高いです、。）ダイソーや無印良品、ユニクロ等で日本のものは不自由なく手に入りますし、治安に関しても身の危険を感じるようなことはありません。多民族国家なので、差別もほとんどなく、とにかく皆親切で困っていると向こうから声をかけてくれます。人の優しさに助けられている毎日です。

メルボルンは夏が終わり、秋に入りました。だんだん涼しくなってきた、過ごしやすい気候です。4月の後半はイースター休暇で、1週間授業がないので友人とシドニーに行く予定です。勉強も遊びも全力で楽しんで充実した留学にしたいです。



オリエンテーションで仲良くなった韓国人の交換留学生と日本人の友人とセントキルダビーチに行きました！どこまでも青くて綺麗な海に心が癒されました！



休日は近くのマーケットへ行くことが多いです。スーパーよりも安く野菜や果物、肉を買うことができます。日本にはないものもたくさん売っていて歩いているだけで面白いです！



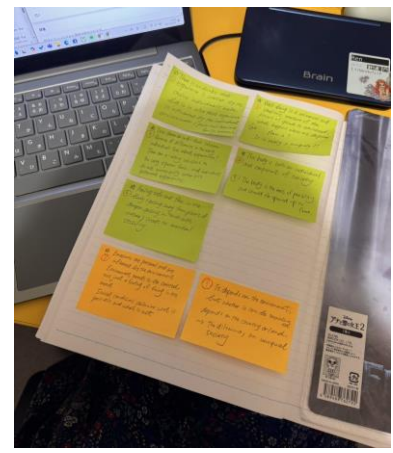
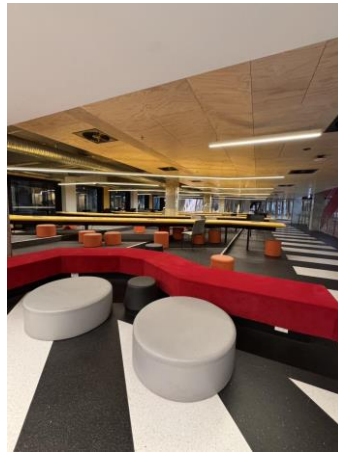
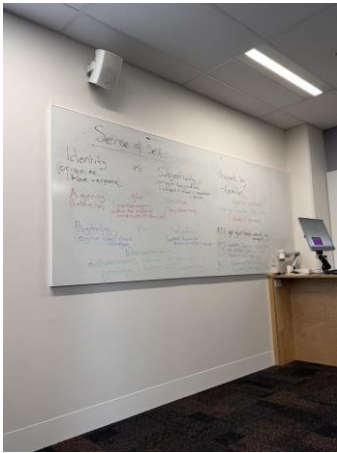
CBD 近くのボタニカルガーデンで行われていた「Moonlight Cinema」というイベントに行ってきました。草原に寝っ転がって映画を見る、まさに海外！な体験でした！



メルボルンは歩いているだけでたくさんのアートに遭遇出来てとっても楽しいです！

コーヒー発祥の地なので、カフェがたくさんあります！私はコーヒーがあまり好きではなかったのですが、こちらのコーヒーが美味しすぎて、、毎日飲むようになりました！

カフェ巡りも趣味の一つです！



大学内は、勉強スペースがたくさんあり、場所には困りません。授業では板書の写真を必ず撮り、振り返りができるようにしています。ノートは日本語と英語、両方書くことでディスカッションの際に困らないようにしています。